



Sustainable Community Center Japan

NPO

New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2015 年度 活 動 報 告 書

2015 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日

2016 年 2 月 18 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2015 年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル ネット」
 - 1-1. どこカル ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル ネット運営体制
2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制
3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制
4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会
5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールリングリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営
6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2015 年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2015 年度の報告と今後の抱負」

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)は、法人設立以来 14 年がたとうとしています。任意団体時代を含めると 17 年目を迎えようとしています。この間に、情報通信技術の最先端の成果を活用しながら、持続可能な地域づくりに取り組んできました。2015 年も着実にその成果を上げてきたと考えております。

「ポケットカルテ」は、個人情報保護時代にあって、健康や医療にかかわる情報は本来それぞれの市民のものであり、自らの個人情報を自分自身で管理するという思想に基づいて、個人情報コントロール権の考え方を徹底した新たなシステムとして定着してきました。従来の医療や健康の考え方を電子カルテとネットワークの活用を通じて一人一人の市民の視点に立って根底から組み替え、地域共通診察券「すこやか安心カード」の開発と相まって、その社会実装も着実に進みつつあります。もちろん私たちの活動の中には既に社会的使命を終えたものもありますが、いずれもその時々々の先端にあって社会を触発しあるいは牽引してきました。

2015-16 年の京都研究会は、「ポケットカルテ」の思想を社会生活のあらゆる側面に広げようとする「個人番号制度」を取り上げました。個人情報を統合的に活用する一意の付番による個人番号制度は、これからの社会生活の利便性や快適性に大きな変革をもたらすことが期待されています。しかしその一方では、情報システムの安定性や安全性、情報セキュリティについては、様々な危険性も指摘されています。実際、犯罪行為であれ事故であれ、情報漏えいやシステムダウンの事例は多々見聞きされるところです。今回の京都研究会では、「マイナンバーと情報保護～マイナンバー導入を控えて、今一度情報セキュリティを考える～」をテーマとしました。そこでは個人情報保護の在り方や問題点、個人番号制度と法人番号制度の長所と短所、情報保護にかかる事業者の留意点、情報システムセキュリティの在り方についてなど、時代の要請に合ったテーマであり、なお、私たちが長年追求してきた論点を改めて議論することができました。時代がようやく私たちの問題意識に追いついてきたと考えてもよいのかもしれませんが。

この間に着実に大きく育ってきたプロジェクトもありますが、その一方では、従来の事業の整理と新たな事業分野への開拓が求められている分野も明らかです。2016 年は、この一年間の蓄積とこれまでの経験を活かして、「どこカル ネット」のように既に社会的評価をいただき一定の実績をあげてきた分野についてはさらなる飛躍を追求する年にしたいと思います。その一方で、COP21 の成功によって本格化する地球温暖化対策に代表される持続的な地域づくりに向けて、私たちの情報技術を活かしていくことをぜひ考えたいと思っています。これまでの京都研究会で生まれた新しい芽を、少しずつであっても育てていきたいと思っています。

2016 年度を迎えて、これからの SCCJ の活動を活発に進めていくためには、多くの会員の方々の積極的なご参加とご支援が必要ですし、ご指導とご鞭撻をいただかなければ大きく前進することはかなわないと考えています。会員各位のご協力に大きく期待申し上げますとともに、皆様と一緒に持続可能な新しい地域をつくっていく大きな一歩となる年にしたいと思っています。

2016 年 2 月吉日

特定非営利活動法人

日本サスティナブル・コミュニティ・センター

代表理事 新 川 達 郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル．ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル．ネットの活動概要

どこカル．ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル．ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3二次医療圏を経て、48二次医療圏の地域中核病院・団体に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行ってきた。

また、2008年10月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル．ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：ITコンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探索する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル．ネットの各種活動実績

2015年度は以下の活動を実施した。

■ 「どこカル．ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、中辻事業運営責任者及びスタッフ一同で定例会議を実施。2015年度においては計38回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテ

ション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2015 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関、団体は 48 病院、1 グループ、1 学会。

■ 「ポケットカルテ」～個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (PHR : Personal Health Record) で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間 (2009 年 1 月時点) で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在 (2015 年 12 月時点) **5 万人弱のユーザー**が実利用している。

2011 年 11 月より開始した「ポケットカルテ電子版お薬手帳」サービスでは、医療機関で発行される領収書に印字された「2 次元バーコード (QR コード)」経由で、調剤情報、及び、医療費明細書情報をポケットカルテに取り込むことができる。

2015 年 7 月にリリースした iOS 版ポケットカルテの新たな QR コード読み取り機能により、保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) が推奨する QR コードの読み取りにも対応したため、現在 (2015 年 12 月時点) では、**全国 2～3000 店舗の調剤薬局が対応薬局**となった。

2015 年度 (2015 年 1 月から 2015 年 12 月まで) においては、次のサービスを新たに開始した。

① 2015 年 4 月 「ポケットカルテ電子版 NICU 退院手帳 (長期フォローアップ手帳)」本番版のリリース

2014 年 7 月にリリースされた「ポケットカルテ電子版 NICU 退院手帳 (長期フォローアップ手帳)」のデモ版が大阪府立母子保健総合医療センター (大阪府和泉市)、及び、日本小児科関連学会の関係者らに利用されてきたが、2015 年 4 月に本番版をリリースし公開した。「電子版 NICU 退院手帳」では、低出生体重児、胎児治療児、先天性風疹症候群 (CRS) 児など、それぞれの専門施設においても長期的に把握し続けることが困難な情報を、医療関係者や対象児の両親が、対象児の基本情報や出生時記録 (性別・生年月日・在胎期間・出生体重)、及び、母子手帳記録に加えて、連絡先の情報 (両親の氏名・住所・連絡先・施設の情報・最寄りの保健所の情報)、疾患の内容、発達検査の内容、腎機能などを登録する。これにより、対象児が成人になるまでの長期的なフォローアップが可能となった。

基本情報	
児	連絡可能匿名化ID
氏名	児 光明 サカイミツアキ
性別	男
生年月日	2014年3月3日 平成26年3月3日
在胎期間	33 週 0 日
出生体重	2222 g
母	氏名 児 花子 サカイハナコ
父	氏名 児 太郎 サカイタロウ

基本情報	
児	連絡可能匿名化ID
氏名	児 いずみ サカイイズミ
性別	女
生年月日	2015年3月23日 平成27年3月23日
在胎期間	32 週 3 日
出生体重	2400 g
母	氏名 児 花子 サカイハナコ
父	氏名 児 太郎 サカイタロウ

「ポケットカルテ電子版 NICU 退院手帳」本番版の画面

② ポケットカルテ電子版透析手帳の実証実験

ポケットカルテ電子版透析手帳において、現時点では、透析関連情報を患者自身が入力する必要があり、このため、入力の手間暇や入力の間違いなど利用者からの課題提起があった。これを解決するために、京都大学医学部附属病院腎臓内科と協業し、ニプロ社の透析システムを使用するわたなべ湖西クリニック（滋賀県大津市）の協力のもと、同社透析管理システムと連携して患者自身がデータの入力をすることなく「ポケットカルテ電子版透析手帳」に自動的にデータを転送する仕組みを構築するための実証実験を継続的に実施している。

③ ポケットカルテ情報端末（キオスク端末）運用開始

新たな端末として開発をはじめたポケットカルテ情報端末（キオスク端末）は、2015 年 4 月より京都医療センターでの運用が開始されている。また、2015 年 5 月より名古屋掖済会病院においても運用が開始されている。

これによりパソコンや携帯電話に不慣れな小児や高齢者であっても、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を持ち歩くだけで「ポケットカルテ」の健診結果や「ポケットカルテ電子版お薬手帳」の閲覧・登録が可能となった。



写真：ポケットカルテ情報端末（キオスク端末）（左）とその画面（右）

④ 一般社団法人ケーブルテレビ連盟との協業によるケーブルテレビ事業者への「ポケットカルテ」の提供

現在、一般社団法人ケーブルテレビ連盟と協業することで、J: COM グループ以外のケーブルテレビ事業者に対して、自宅のテレビから「ポケットカルテ」にアクセスして自身の受診履歴や薬歴を簡単に閲覧できるサービスを提供するための取り組みを行っている。特に、全国のケーブルテレビ事業者が随時導入を進めている新製品「Smart TV Box」を活用して、受診履歴・薬歴データが自動的にデータ転送される装置として使用できるように、昨年度より継続して作業を進めている。

⑤ 競争的資金による研究や各学会におけるポケットカルテ利活用の広がり

厚生労働科学研究費難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」（田口班）、平成 27 年度日本医療研究開発機構研究費（成育疾患克服等総合研究事業）「新生児外科の健診モデル構築とトランジション可能な長期フォローアップ手帳の開発」（木下班）班などの研究でのポケットカルテの利活用や、日本小児連絡協議会（四者協：日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、日本小児期外科系関連学会協議会）での利活用のための委員会設置等がなされ、利活用の広がりを見せている。

■ 地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成 22 年度・23 年度に、総務省「地域 ICT 活用広域連携事業」に「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」（以下、「地域共通診察券事業」とする）を提案し、採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圏リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源（医療従事者・医療機器・設備）をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。



サービス概念図

2012 年 3 月で総務省「地域 ICT 活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行った。2013 年 12 月には京都府京田辺市、2014 年には愛知県名古屋市（名古屋掖済会病院）でサービス提供を開始し、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」が利用可能な医療機関は、101 件（18 病院、35 診療所、48 調剤薬局、2015 年 12 月時点）となった。また、京都府腎臓病患者協議会などと連携し、広報活動を行うことにより、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」の実利用者数は 19,213 名（2015 年 12 月時点）となった。

■ 地方創生に資する「地域情報化大賞」大賞/総務大臣賞受賞

総務省主催の、地方創生に資する「地域情報化大賞」表彰事例に、日本サスティナブル・コミュニティ・センターとして、「ポケットカルテ」及び「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を事例として応募した。

1 月 23 日総務省より表彰事例の発表 があり、「ポケットカルテ」及び「地域共通診察券（すこやか安心カード）」が大賞／総務大臣賞を受賞した。



写真：地方創生に資する「地域情報化大賞」大賞受賞の発表と表彰式の様子

■ 「第4回 健康寿命をのばそう！アワード」局長優良賞受賞

厚生労働省が展開する国民運動である「スマート・ライフ・プロジェクト」による「第4回 健康寿命をのばそう！アワード」において、「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」の取り組みが、局長優良賞を受賞し、11月16日に東京丸ビルにて開催された表彰式にて表彰された。

■ 平成26年総務省委託事業 「公的個人認証サービスの民間活用に係る実証実験」

2018年1月発行開始予定のマイナンバーカードに、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」の機能を搭載できるように、2014年10月より、総務省委託事業として、NTTデータ社、日本デジタル配信社と共に公的個人認証サービスの民間活用の実証実験を開始した。具体的には、京都医療センターの来院患者から50名程度のモニターを募集して、マイナンバーカードのダミーカードを提供し、カードリーダーを取り付けた「Smart TV Box」にダミーカードをかざすと個人認証され、インタラクティブ版「ポケットカルテ」上にログインして自身の受診履歴や薬歴が簡単に閲覧できることを体験していただき、モニターへアンケート調査を、2015年2月2日から2月6日の間実施した。目標50名に対し82名（164%）のアンケート結果をもとに、実用化・普及展開に向けた課題抽出を行った。



写真：公的個人認証サービスの民間活用に係る実証実験に用いられたダミーカード

■ 平成27年度「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第3木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおける「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した。

＜地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会 開催日＞

平成27年1月15日

第53回 「地域共通診察券運営協議会」

	第 45 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 2 月 19 日	第 54 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 46 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 3 月 19 日	第 55 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 47 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 4 月 16 日	第 56 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 48 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 5 月 21 日	第 57 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 49 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 6 月 18 日	第 58 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 50 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 7 月 16 日	第 59 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 51 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 8 月 20 日	第 60 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 52 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 9 月 17 日	第 61 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 53 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 10 月 8 日	第 62 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 54 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 11 月 19 日	第 63 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 55 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会
平成 27 年 12 月 17 日	第 64 回 「地域共通診察券運営協議会」 第 56 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」 合同勉強会

今後も、「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真：地域共通診察券運営協議会での様子

■ 「どこカル．ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として２ヶ月に一度開催。2015 年度においては 6 回の研修会を開催した。

＜研修会開催日＞

- ・ 2015 年 1 月 30 日（金） 第 62 回どこカル．ネット企業会員研修会
- ・ 2015 年 3 月 13 日（金） 第 63 回どこカル．ネット企業会員研修会
- ・ 2015 年 5 月 22 日（金） 第 64 回どこカル．ネット企業会員研修会
- ・ 2015 年 7 月 24 日（金） 第 65 回どこカル．ネット企業会員研修会
- ・ 2015 年 9 月 11 日（金） 第 66 回どこカル．ネット企業会員研修会

- ・ 2015 年 11 月 27 日（金） 第 67 回どこカル．ネット企業会員研修会



写真:会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第 11 回目の開催となる 2015 年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく 400 字詰めいっぱいに書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。

■ 2015 年の主なイベント一覧

- ・ 01 月 08 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01 月 15 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01 月 15 日 第 53 回（平成 26 年度第 10 回）「地域共通診察券(すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 01 月 15 日 第 45 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 01 月 20 日 総務省地域情報化アドバイザー会議 地方創生に資する「地域情報化大賞」プレゼンテーション出席
- ・ 01 月 22 日 【日本 CATV 連盟】第 4 回 ヘルスケア SWG
- ・ 01 月 22 日 【J-LIS】第 5 回経営審議委員会
- ・ 01 月 23 日 【日本ケーブルテレビ事業協同組合（JCBC）】例会
- ・ 01 月 23 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01 月 29 日 【NPO 法人生駒の地域医療を育てる会】電子カルテ地域共有の講演会
- ・ 01 月 29 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01 月 30 日 SCCJ 第 16 回京都研究会
- ・ 01 月 30 日 【どこカル．ネット】第 62 回企業会員研修会
- ・ 01 月 31 日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 02 月 05 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 12 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 13 日 生駒市医療費等適正化推進委員会
- ・ 02 月 19 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 19 日 第 54 回（平成 26 年度第 11 回）「地域共通診察券(すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02 月 19 日 第 46 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 02 月 26 日 【日本 CATV 連盟】第 5 回 ヘルスケア SWG（都内中央区）
- ・ 03 月 05 日 【総務省】クラウド・センサー技術の 医療・介護分野における利活用促進のための課題と方策を検討することを目的とした懇談会予定（都内）
- ・ 03 月 06 日 【総務省】地域 ICT サミット地域情報化大賞表彰式～「地方創生×ICT」の現場と豊かな地域発展の可能性
- ・ 03 月 12 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 13 日 【どこカル．ネット】第 63 回企業会員研修会
- ・ 03 月 19 日 第 55 回（平成 26 年度第 12 回）「地域共通診察券(すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03 月 19 日 第 47 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 03 月 19 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会

- ・ 03 月 26 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 26 日 【日本 CATV 連盟】第 6 回(最終回)ヘルスケア SWG
- ・ 03 月 30 日 【情報通信講演会】総務大臣賞受賞記念講演会
- ・ 04 月 02 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 09 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 09 日 【日本小児連絡協議会】合同委員会(都内文京区)
- ・ 04 月 24 日 【日本 CATV 連盟】第 7 回(新年度初回)ヘルスケア SWG
- ・ 04 月 16 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 16 日 第 56 回(平成 27 年度第 1 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04 月 16 日 第 48 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 05 月 07 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 08 日 生駒市国民健康保険適正化委員会出席
- ・ 05 月 14 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 21 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 21 日 第 57 回(平成 27 年度第 2 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 05 月 21 日 第 49 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 05 月 22 日 【どこカル. ネット】第 64 回企業会員研修会
- ・ 05 月 28 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 01 日 【電波の日・情報通信月間】記念式典
- ・ 06 月 04 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 05 日 【JCTA 北関東支部+埼玉ケーブルテレビ連盟合同総会】ポケットカルテ講演
- ・ 06 月 11 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 12 日 【J-LIS】第 7 回経営審議委員会出席
- ・ 06 月 18 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 18 日 第 58 回(平成 27 年度第 3 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06 月 18 日 第 49 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 06 月 19 日 【日本ケーブルテレビ連盟】ヘルスケア SWG
- ・ 06 月 20 日 【政策分析ネットワーク】地方創生×ICT シンポジウム
- ・ 06 月 25 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07 月 02 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07 月 04 日 【日本テレワーク学会研究発表大会】基調講演
- ・ 07 月 09 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07 月 14 日 【日本ケーブルテレビ連盟】ID 連携利活用 WG 第 4 回会合予定
- ・ 07 月 16 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07 月 16 日 第 59 回(平成 27 年度第 4 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 07 月 16 日 第 50 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 07 月 16 日 IT コンソーシアム京都委員会・総会
- ・ 07 月 23 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07 月 24 日 【どこカル. ネット】第 65 回企業会員研修会
- ・ 07 月 30 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08 月 01 日 北野病院学術講演会
- ・ 08 月 03 日 大阪府立成人病センター「ポケットカルテ」&地域共通診察券「すこやか安心カード」講演
- ・ 08 月 06 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08 月 17 日 地域医療計画策定 WG 予定(都内)
- ・ 08 月 20 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08 月 20 日 第 60 回(平成 27 年度第 5 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08 月 20 日 第 51 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 08 月 27 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・

- ・ 09 月 02 日 ID 連携利活用 WG 第 5 回会合出席
- ・ 09 月 03 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09 月 10 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09 月 11 日 【どこカル. ネット】第 66 回企業会員研修会
- ・ 09 月 17 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09 月 17 日 第 61 回 (平成 27 年度第 6 回)「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 09 月 17 日 第 52 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 09 月 18 日 【J-LIS】第 8 回経営審議委員会出席
- ・ 09 月 24 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09 月 28 日 関西経済人・エコノミスト会議討論会「AI が拓く未来」出席
- ・ 10 月 01 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10 月 08 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10 月 08 日 第 62 回 (平成 27 年度第 7 回)「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10 月 08 日 第 53 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 10 月 11 日 ダイナミクス全国大会 2015in 京都にて講演
- ・ 10 月 15 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10 月 15 日 【NICT】委託研究成果発表会
- ・ 10 月 22 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10 月 23 日 【生駒市】医療費適正化委員会出席
- ・ 10 月 29 日 【CBI 学会年会】江戸川区後援市民講座「地域医療のイノベーションと ICT」に一災害時にも対応できる医療情報を一にて講演
- ・ 10 月 29 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11 月 05 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11 月 12 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11 月 12 日 平成 27 年度地域情報化アドバイザー地方局会議出席
- ・ 11 月 16 日 「第 4 回健康寿命をのばそう！アワード！」表彰式
- ・ 11 月 19 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11 月 19 日 第 63 回 (平成 27 年度第 8 回)「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 11 月 19 日 第 54 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 11 月 19 日 【四者協合同委員会】疾病登録と保健・医療情報の電子化に関する委員会出席
- ・ 11 月 23 日 厚生労働科学研究費難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」出席
- ・ 11 月 26 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11 月 27 日 【どこカル. ネット】第 67 回企業会員研修会
- ・ 12 月 03 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12 月 10 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12 月 17 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12 月 17 日 第 64 回 (平成 27 年度第 9 回)「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12 月 17 日 第 55 回 「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 12 月 24 日 定例会 「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12 月 26 日 NPO 法人医桜様主催「Regional Health Development2015」にて講演

1-4. どこカル. ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
事業運営責任者	中辻 善行	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	

技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
國領 二郎	慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	財団法人聖マリアンナ会
	株式会社アドバンス・メディア	JBCO 株式会社
	アライドテレシス株式会社	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社アンテリオ	高岡ケーブルネットワーク株式会社
	株式会社医用工学研究所	となみ衛生通信テレビ株式会社
	株式会社インスパイア	株式会社ナイス
	亀田医療情報株式会社	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	京都電測株式会社	日本システム開発株式会社
	株式会社K C N 京都	日本デジタル配信株式会社
	K D D I 株式会社	株式会社ハートネットワーク
	サクサ株式会社	株式会社フェイス
	サトーヘルスケア株式会社	株式会社ミライテック
	ジャパンケーブルキャスト株式会社	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	ジュピターテレコム株式会社	株式会社リコー

他 5 社、計 33 社（50 音順、2015 年 12 月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより 2002 年 5 月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPN を利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施している。

プロジェクト開始から 2005 年 3 月末までの 3 年間は、SCGJ を運営母体とする実証実験を実施。2005 年 4 月～2008 年 3 月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの役割を担った。同社は 2008 年 3 月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008 年 4 月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されてきた。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

「みあこネット方式」として普及支援を行ってきた、基地局では認証せず VPN を利用したアクセスのみを通過させる方式は、当時は安全性を確保できる唯一の方式として提唱し、現時点でも安全性において他方式と比べて遜色ないが、スマートホンやタブレット等の普及に伴い、基地局への接続の都度 VPN の確立のための操作が要求される点において利便性に難があった。一方、IEEE802.11i に基づくエンタープライズ規格の認証方式が普及し、京都大学では eduoam に続いて KUINS-Air と呼ばれる方式で提供が開始されたこと、安全性には難あるもののキャリア Wi-Fi のサービスも提供されるようになったことから、京都大学での MIAKO ネット方式での無線 LAN 接続サービスの提供は 2016 年 2 月を以て停止することとなった。

観光客など訪問者に無料で Wi-Fi 接続を提供するというみあこネットの理念は、京都 Wi-Fi などのインフラ整備が進み、安全性には大いに疑問があるものの、当たりまえのものとなりつつある。このことから、2016 年度以降は、京都医療センターなど MIAKO ネット方式での無線 LAN 接続サービス実施の事業者のみを個別に支援する予定である。

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	岡部 寿男	京都大学学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」 <http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは 2005 年より実施している「こちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009 年 6 月 1 日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011 年 1 月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2015-2016 年度は 2016 年 1 月 22 日（金）に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第 17 回京都研究会 2015-2016

<http://www.sccj.com/kk/2015-2016/>

「マイナンバーと情報保護～マイナンバー導入を控えて、今一度情報セキュリティを考える～」

【内容】

- 12:00～ 受付開始
- 13:05～13:50 「マイナンバー制度導入と個人情報保護」
講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）、
佐伯 彰洋 氏（同志社大学法学部法律学科教授）
- 13:50～14:30 「個人事業主とマイナンバー～ここが知りたいQ&A～」
講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事）
安下 ひろみ 氏（新経営サービス清水税理士法人 企業会計部門 税理士）
- 14:30～15:20 「組織運営の重要課題としてのセキュリティ対策」
講演：竹原司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション
最高顧問/NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）立石 譲二 氏
（独立行政法人 情報処理推進機構 技術本部 本部長）
- 15:20～15:35 休憩
- 15:35～16:25 「マイナンバーとポケットカルテ～いよいよ始まるデータの利活用～」
講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO 法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問）
- 16:25～16:30 ステージ調整
- 16:30～17:15 【総合討論会】『マイナンバーと情報保護』
コーディネータ：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サス
ティナブル・コミュニティ・センター代表理事）・パネリスト：竹原 司（インフォグリー
ン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション最高顧問/NPO法人日本サスティ
ナブル・コ ミュニティ・センター副代表理事）、隅岡 敦史（NPO法人日本サステイナブル・
コミュニティ・センター理事）、北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医
療情報部長/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問）・佐伯 彰洋 氏（同
志社大学法学部法律学科教授）・安下 ひろみ 氏（新経営サービス清水税理士法人 企業会計
部門 税理士）・立石 譲二 氏（独立行政法人 情報処理推進機構理事）
- 17:15～ 閉会の挨拶：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエ
ーション最高顧問/NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

第2部 分科会（懇親会）：閉会后～19:00

【会場】T S U M U G I

住所：京都市左京区栗田口鳥居町 2-1 京都市国際交流会館内

電話：075-751-6615

【参加費】有料

- ・研究会（13:00～17:30）のみの参加
一般：1,000 円
SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方
公共団体職員の方：無料
- ・研究会、懇親会（閉会后～19:00）すべて参加
一般：6,000 円
SCCJ 会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方
公共団体職員の方：5,000 円

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター

後援：京都府、京都市、京都新聞社、IT コンソーシアム京都

【定員】220 名

5. 広報・マーケティング

Web サイト、プレスリリース、各種メーリングリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メーリングリスト運営

SCCJ 関連で、テーマ、目的別のメーリングリストが 10 数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メーリングリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメーリングリストで、設立当初の 1999 年の 190 名から、2015 年 12 月末に登録者は 565 名である。

5-2. Web サイト運営

2015 年現在運営しているサイトは以下の通り。

- | | |
|-------------------|---|
| ・ SCCJ | http://www.sccj.com/ |
| ・「みあこネット」方式普及支援事業 | http://www.miako.net/ |
| ・ どこカル. ネット | http://www.dokokaru.net |
| ・ ポケットカルテ | http://pocketkarte.net/ |
| ・ アグリライフ | http://www.agri-life.net/ |

6. 会員について (2015 年 12 月末現在)

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	38	11	49
学生	0	0	0
合計	38	11	49

<どこカル. ネット企業・団体会員>31 社
詳細は「どこカル. ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター 総会

日時： 2015 年 2 月 13 日（金） 19:00-20:00

会場： 同志社大学今出川烏丸キャンパス 志高館 2 階 SK288 共同研究室
2014 年度活動報告・収支報告、2015 年事業についてについて了承された。

2. 2015 年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2015 年 1 月 15 日
- ・ 2015 年 2 月 13 日
- ・ 2015 年 3 月 19 日
- ・ 2015 年 4 月 16 日
- ・ 2015 年 5 月 21 日
- ・ 2015 年 6 月 18 日
- ・ 2015 年 7 月 17 日
- ・ 2015 年 8 月 20 日
- ・ 2015 年 9 月 17 日
- ・ 2015 年 10 月 16 日
- ・ 2015 年 11 月 19 日
- ・ 2015 年 12 月 17 日

3. 事務局体制 (2015 年 12 月末現在)

(1) 職員

常勤：4 名

どこカル. ネット事業運営責任者：中辻善行

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル. ネット事務局スタッフ：横田健吾、伊藤純也

どこカル. ネットボランティア：6 名

4. 理事、監事、顧問 (2015 年 12 月末現在)

(50 音順)

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	インフォグリーン株式会社代表取締役社長／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	嘉悦大学ビジネス創造学部学部教授
	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上